

『折尾駅舎』を「改札口」に活用する会

2月28日、折尾駅は『開業120周年』を迎えました。

折尾駅は『日本最古の立体交差駅』で、鹿児島本線と筑豊本線が立体交差しています。

現在は、両線ともJR九州ですが、開業当初は別の会社で、駅舎も開業日も違っていました。

・1891(明治24)年2月28日開業

現在の「鹿児島本線」は「九州鉄道株式会社」。当初の駅位置は現駅より北へ約1kmの処にありました。ホームは2階部分。

・1891(明治24)年8月30日開業

現在の「筑豊本線」は「筑豊興業鉄道株式会社」。駅位置は現駅より若干南にありました。ホームは1階部分。

1895(明治28)年に、現在の駅の位置で「共同の駅」となりましたが、1階と2階はそれぞれの別の会社であるため、駅長室も2つあったそうです。

折尾駅舎は、『日本最古の立体交差駅』であるため、鹿児島本線の電車の中から駅舎を見ることが出来ます。

駅舎の形は、筑豊本線の間側が1階建、鹿児島本線に隣接する側が2階建てで、左右対称でないアンバランスな形こそが「立体交差駅」であることを証明し、『日本唯一』です。

■『折尾駅舎』を「改札口」に活用する署名活動が始まりました！！

『折尾駅舎』は、線路高架事業により、今年中(2011年)にも取壊される予定です。

今年1月に取壊された「西鉄電車3連赤煉瓦アーチ高架橋」跡地に「仮トイレ」をつくり、現在の「駅横トイレ位置」に「(仮)改札口」をつくる説明が、昨年9月にありました。

従って、この「**駅横トイレ位置**」につくられる「(仮)改札口」を『**折尾駅舎中央2階建て部分の姿**』外観と待合室を活用して、永久に使える「(本)改札口」にすることができる可能性が出てきました。現在の計画では、**十数年間、折尾駅前から姿を消し、将来、レプリカで『折尾駅舎』をつくれるかどうか、今のところ未定** だそうです。

■『折尾駅舎』は、折尾のシンボル(ふる里)です。

子ども達にも、ふる里を持つ幸せを味あわせてあげたい！

□■□ ～ 折尾に帰って来た時に、一番に出迎えてくれる『折尾駅舎』！～ □■□

■□■ ～ 青春時代の甘酸っぱい思い出が、心をよぎる『折尾駅舎』！～ ■□■

□■□ 『折尾駅舎』の姿は、私達のふる里として、いつまでも活き続けます □■□

■『折尾駅舎』は、日本経済新聞で、『全国で訪れる価値のある駅』の第7位に選ばれています。

【1位：門司港駅、4位：東京駅、7位：折尾駅】

失った後で「残しておけば良かった」と嘆いても「後悔先に立たず」です。

■至急、署名を下記の「住所」「FAX」までご送付下さい。 ≪ 中間期限：3月31日 ≫

	氏 名 (N A M E)	住 所 (A D D R E S S)
1		
2		
3		

※ 本署名は、線路高架事業による折尾駅構内バリアフリーやホームなどの利便性などは、現在の計画通りです。折尾総合整備事業(線路高架)事業に反対するものでもありません。

※ 署名は、『折尾駅舎』活用に関わる活動のみに使用させていただきます。

■メール署名の場合は、『件名に「署名」、本文に「氏名・住所」を記入』してご送信下さい。



『折尾駅舎』を「改札口」として活用する会(会長：仰木埴壺)

■〒807-0831 北九州市八幡西区則松7-13-11 ■TEL:090-9407-1193 ■FAX:093-691-6001

■http://www.geocities.jp/orioekisya2011/ ■E-mail(折尾駅舎2011):orioekisya2011@yahoo.co.jp